

# 鹿児島県立病院群

## 基幹病院（県立大島病院）の概要

所在地 〒894-0015 奄美市名瀬真名津町18番1号  
 開設者 鹿児島県  
 開設年月日 明治34年3月29日  
 病院長 石神 純也  
 病床数 350床  
 診療科目 内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、病理診断科、救急科、麻酔科、歯科口腔外科、精神科  
 医師数 75名（常勤 55名、非常勤 20名）[R5.4.1 現在]  
 指導医数 10名  
 1日平均外来患者数 453.3人  
 1日平均入院患者数 206.0人



## 臨床研修プログラムの特徴

各種疾患に対するプライマリ・ケアの習得を基本とし、第一線の臨床医を目指すとともに、研修後半では、将来の目標に応じて、希望分野における専門的な知識・技術を修得できます（40週以上の専攻科）。大島病院を基幹病院とし、南北600kmの県内各地にある協力病院・協力施設と連携した研修体制で、臨床医としての社会的責任、考え方を涵養します。また、それぞれの地域の実情に応じた診療も体験できます（特にB、Cプログラム）。さらに、大島病院には平成26年6月から地域救命救急センターと同時に運用を開始した臨床研修センターがあり、本格的な臨床トレーニングのための医療シミュレーター等も整備しているほか、平成28年12月からは奄美ドクターヘリの基地病院となっており、離島地域における救急医療も経験することができます。

県立病院事業管理者 福元 俊孝  
 県立大島病院長 石神 純也

## 臨床研修スケジュール

Aプログラム（定員4名）【奄美大島完結 or 鹿大病院選択】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科 (24週以上)						救急分野 (12週以上)			外科 (4週以上)	小児科 (4週以上)	精神科 (4週以上)
2年目	地域医療 (4週以上)	産婦人科 (4週以上)	専攻科 (40週以上)									
	へき地 診療所等	大島病院	大島病院又は鹿児島大学病院から選択。このほか、兵庫県立淡路医療センターでの研修や名瀬保健所での「地域保健」研修も可能（いずれも4週以内）。									

Bプログラム（定員3名）【大島病院一本土「県立病院+協力病院」】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科 (24週以上)						救急分野 (12週以上)			外科 (4週以上)	小児科 (4週以上)	精神科 (4週以上)
2年目	地域医療 (4週以上)	専攻科① (12週以上)				産婦人科 (4週以上)	専攻科② (28週以上)					
	へき地 診療所等	鹿屋医療センター、薩南病院、北薩病院 のいずれか1か所を選択				選択	選択					

小児科：大島病院、鹿屋医療センター、北薩病院、鹿児島医療センターのいずれか1か所を選択  
 外科：大島病院、鹿屋医療センター、薩南病院、鹿児島医療センター、南風病院のいずれか1か所を選択  
 産婦人科：大島病院、鹿屋医療センターから選択  
 専攻科①：大島病院以外の県立病院のうち1か所での研修 ※ 必修診療科の小児科・産婦人科・外科を1か月（4週+α）に限り含めることが可能。  
 専攻科②：大島病院、鹿屋医療センター、薩南病院、始良病院、鹿児島大学病院、鹿児島医療センター、南風病院、鹿児島市立病院から選択（ただし、県立病院以外の医療機関は1か所とする。また、鹿児島市立病院での研修は、救急部門を除く診療科を選択可能（8週以内）。）。このほか、兵庫県立淡路医療センターでの研修や保健所での「地域保健」研修も可能（いずれも4週以内。研修できる保健所は、名瀬保健所、鹿屋保健所、加世田保健所、始良保健所とし、宿舎確保の観点から県立病院での研修中または研修翌月に最も近い保健所での研修とする。）。

Cプログラム（定員3名）【本土「県立病院+協力病院」→大島病院一本土「県立病院+協力病院」（大島も可）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科 (24週以上)						外科 (4週以上)	小児科 (4週以上)	精神科 (4週以上)	救急分野 (12週以上)		
2年目	鹿屋医療センター、薩南病院、北薩病院 のいずれか1か所を選択						選択	選択	奄美、始良 から1か所	大島病院		
	専攻科① (20週以上)						地域医療 (4週以上)	産婦人科 (4週以上)	専攻科② (20週以上)			
	大島病院						選択	選択				

小児科：大島病院、鹿屋医療センター、北薩病院、鹿児島医療センターのいずれか1か所を選択  
 外科：大島病院、鹿屋医療センター、薩南病院、鹿児島医療センター、南風病院のいずれか1か所を選択  
 産婦人科：大島病院、鹿屋医療センターから選択  
 専攻科①：大島病院、鹿屋医療センター、薩南病院、北薩病院、始良病院、鹿児島大学病院、鹿児島医療センター、南風病院、鹿児島市立病院から選択（ただし、県立病院以外の医療機関は1か所とする。また、鹿児島市立病院での研修は、救急部門を除く診療科を選択可能（8週以内）。）。このほか、兵庫県立淡路医療センターでの研修や保健所での「地域保健」研修も可能（いずれも4週以内。研修できる保健所は、名瀬保健所、鹿屋保健所、加世田保健所、始良保健所とし、宿舎確保の観点から県立病院での研修中または研修翌月に最も近い保健所での研修とする。）。

### <全プログラム共通>

- 内科、小児科、外科、地域医療において、一般外来での研修を4週以上実施する（並行研修可）。
- 当プログラムにおいては、2年間を通じて週1回以内の宿直研修及び月1回以内の日直研修を行う。
- 救急分野の研修では、救急科所属とし、麻酔科での研修も含む（救急分野としての麻酔科研修は4週を上限）。
- 研修プログラムの診療科については、研修期間中本人の要望に応じて各種条件を満たせば変更も可能。

## 研修協力病院・研修協力施設

**県立病院群** 鹿屋医療センター、県立薩南病院、県立北薩病院、県立始良病院

**その他** 鹿児島大学病院、鹿児島市立病院、鹿児島医療センター、南風病院、奄美病院、瀬戸内町へき地診療所、枕崎市立病院、兵庫県立淡路医療センター、名瀬保健所、鹿屋保健所、加世田保健所、始良保健所、大島郡医師会病院、南さつま市立坊津病院、みんなの診療所

## 新専門医研修プログラム

精神科領域専門医研修プログラム（県立始良病院）

### 病院のアピールポイント

県立大島病院



鹿屋医療センター



県立薩南病院



県立北薩病院



県立始良病院



多くのへき地や離島を有する鹿児島県において、五つの県立病院は、地域の中核的医療機関として、地域医療を守る一翼を担っています。また、平成28年12月には、大島病院を基地病院とし、全国で48機目となる奄美ドクターヘリの運航を開始し、奄美地域における救急医療体制の充実・強化に努めています。

当研修プログラムでは、これら県立5病院のほか、鹿児島大学病院、鹿児島市立病院、鹿児島医療センター、南風病院など研修協力15病院等の特色・得意分野を活かし、へき地医療から高度・救急医療まで、地域医療の総合的な研修が可能です。

また、40週以上の選択科目により、将来の目標に応じた専門的知識や技術を習得できるとともに、ICLSの資格取得や手技を中心とした研修医合同セミナーへの参加など、研修機会も充実していることから、プライマリ・ケアに関する実践的な臨床能力を身に付けたい方にお勧めです。

地域医療に関心のある皆さん、あなたの医師生活の第一歩を地域医療の最前線で踏み出してみませんか。私達は総力を挙げてサポートします。

#### 【研修医からのメッセージ】2年目研修医 三島 一乃

##### ○県立大島病院での研修を選んだ理由

県立大島病院は奄美群島に暮らすおよそ10万人の生活を守るため、全国でも離島唯一の救命センターがある施設として一次救急から三次救急まで幅広い救急疾患に対応しています。

都市部では病院ごとに対応する症例や機能が分かれていることがあると思いますが、奄美群島の中核を担う当院では小児からお年寄りまで、walk inで来るcommon diseaseからヘリ搬送される重症多発外傷まで様々な症例を経験することができます。

どの症例も研修医がファーストタッチするため病院の戦力としてより実践的な研修をすることが可能です。様々な症例を経験できる点、より患者様の生活に近い場で色々と学ばせていただける点で私は魅力を感じました。

また、当直帯で経験した症例を毎朝多くの先生方が参加される場で振り返りをさせていただける点や抄読会やケースカンファレンス、各科の先生方からのレクチャーが充実している点など魅力的なところがたくさんあって、書いていたらキリがないくらいです。

##### ○1日の研修スケジュール

###### <救急科>

8:00～ 朝カンファレンス

当直帯で経験した症例を振り返り、初期対応の見直し等を行います。プレゼンテーションの練習にもなります。

8:30～ 病棟回診・救急外来・ICU病棟管理

小児も脳卒中も骨折も、まずは研修医が診察・評価を行います。救急科の先生からのフィードバックを受けながら対応についてディスカッション。ICU病棟管理もローテ中一定期間経験します。2年目研修医はOJTとしてドクヘリも経験できます。

13:00～ 大学病院との合同カンファレンス

大学病院とのカンファレンスや勉強会があることも

17:00～ 研修医ミーティング・レクチャー

研修医による論文の抄読会やケースカンファレンス、各科レクチャー、縫合等手技レクチャー、他施設合同カンファレンスなどもあります。

##### ○休日の過ごし方

ドライブに行ったり、海に行ったり、同期みんなでバーベキューをしたり充実した休日を過ごしています。海も山も星も綺麗なので写真好きな方も楽しめるのではないのでしょうか。東京・大阪・福岡・沖縄への直行便もあるので学会に参加したり病院見学や旅行もできそうですね。

##### ○最後に(医学生に向けて一言)

医師として人として成長できる奄美大島で充実した2年間を過ごしてみませんか？  
いつかみなさんと一緒に学べる日を楽しみにしています。



○大島病院臨床研修センターブログ  
医療人育成に関する取組みや各種レクチャー動画などを紹介しています。



## 初期研修医処遇

身分	会計年度任用職員		加入保険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険、病院賠償責任保険
基本給	1年次	月額15,300円(月20日勤務の場合、月額306,000円)	当直手当	19,000円/回
	2年次	月額16,100円(月20日勤務の場合、月額322,000円)	通勤手当	有り
期末手当	1年次	年2回(年額489,600円以内)※1	宿 舎	有り(有料)
	2年次	年2回(年額772,800円以内)※1	その他手当	超過勤務手当
出張	研修会等への参加有り(旅費支給有り)		その他	病院見学は随時受け付けています。また、病院見学の際の旅費の一部を助成しています。(ただし、4年生以上) ※1 賞与額は、県立病院で勤務した期間(月数)に応じて変動します。
休暇	年次有給休暇(1年次10日、2年次11日) 夏季休暇(年5日)			

## 募集要項

**募集定員** 10名(A:4名、B:3名、C:3名)

**応募資格** 第118回医師国家試験を受験予定の者及び既卒者で、令和5年度医師臨床研修マッチングに参加する者

**応募締切** 1・2回目:令和5年7月下旬~8月(予定)

**試験日程** 1・2回目:令和5年8月(予定)

**試験内容** ※ 詳細な日程は、県立病院局ホームページで公表

面接

## 応募連絡先

**所在地** 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号

**担当部署** 県立病院課 経営企画班

**電話** 099-286-2820

**F A X** 099-286-5566

**E-mail** byouins@pref.kagoshima.lg.jp

**U R L** http://hospital.pref.kagoshima.jp/